

# フレイル Chest を伴う多発肋骨骨折に対する早期手術が早期離床、早期回復に与える効果についての検討に関する研究

## 1. 研究の対象

2007年6月～2018年9月に多発肋骨骨折に対して手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

倫理委員会承認後～2020年3月31日までを研究実施期間とし、後ろ向きに診療録を調べることで入院後早期の手術が早期離床・早期回復に与える効果を検討する。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、既往歴、受傷機転、来院時 vital、ISS、肋骨骨折の本数、受傷から手術までの期間、肺手術の有無、人工呼吸管理の有無と期間、ICU 滞在の有無と期間、疼痛の程度、入院期間、合併症の有無など

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

麻酔科・紺田真規子

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221 (代表)

研究責任者：

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター  
麻酔科・副院長・奥谷龍